

附録第一

閩粵贛辺區總司令部代電

成立字第一六五號
昭和二十年九月二七

- (一) 汕頭市ニ於ケル日本人(内地人ニ限ル)ハ九月二十八日岩石ノ岩光中學校ニ向ケ集中スル事ニ決定
集中時限ハ午前六時ヨリ午後五時迄トス(申開)
- (二) 集合及移動ノ規定ハ太古碼頭ヲ以テ出發ノ集合場所トナシ集合場所到達後其ノ情況ニ依リ逐次乗船岩石ニ渡過スルモノトス
1. 第二分局管轄内ニ在住スル日本人ハ二十八日午前六時ヨリ搬遷開始シ全日午前九時以前ニ搬遷ヲ完了スベシ
2. 第三分局管轄内ニ在住スル日本人ハ二十八日午前九時ヨリ開始シ午後零時以前ニ完了スベシ
3. 第一分局管轄内ニ在住スル日本人ハ二十八日午後零時ヨリ開

0417

始シ午後五時迄ニ完了スベシ

(三) 日本人ノ暫時搬遷ヲ許ス物品左ノ如シ

神柵、位牌、寢具、衣服、身廻品、炊事具、食器、洗面器、照明器、
疊敷物、食米、其他糧食、飲料、燃料、種子、釣道具、風呂桶、
現金、貯金、通帳、帳簿、文具、煙草、及少量ノ藥品等ナリ

四、搬遷セル日本人、住宅商店ハ本部接收組員及
警察司員ガ現場ニ至リ残存セル道具ヲ嚴密ニ
釘封管理シ命令ヲ待テテ處理ス

五、特ニ暫時集中セザル事ヲ指定シタル日本人ハ
出光醬油工場、電力廠、電話電報局、台灣銀行、中央
儲備銀行等、技術専門員ニシテ皆常ノ如ク工
作スベシ

六、領事館人員ハ二十九日日軍司令部ニ移轉共同

0418

シ事務ノ處理ヲナスベシ領事館及領事館邸ハ
本部ヨリ接管スル事トシ永平路ノ臨時領事館
ハ中央銀行ニ返還使用スルコトハス

七、渡河ニ使用スル船ハ日軍現有ノモノヲ使用ス
ル事トシ不足ノ場合ハ領事館ニ於テ雇フモノ
トス 但本部ヨリ通行證ヲ貰フ事トス

八、岩石ノ集中地点ノ準備ハ日軍ヨリ軍官一兵十
(武装)ヲ派遣シ之ヲ主任スル事トス

0419

附録第一二

鐘汕支隊停命第九號

汕頭支隊命令

汕頭
九月二十六日

一支隊ハ汕頭地區在留邦人(日本人)ヲ閩粵贛辺區總司令部代電成立第一六五號ニ基キ岩石地區ニ集結セシメントス

二汕頭領事ハ別紙代電成立第一六五號ニ基キ在留邦人ヲシテ九月二十八日六時ヨリ移動ヲ開始シ岩石^下岩光中學校ニ十七時迄ニ集結セシムベシ

一佐瀬部隊及橋原隊ハ前項輸送ヲ援助スベシ
余ハ汕頭ニ在リ

汕頭支隊長 小野 修

附錄第一三 鍾汕支隊命令第一。號別紙第一
訓令 堅字第一號 九月三十日。

第一第七戰區司令部長官。命令及司令部長官ヨリ田
中一中等宛、各號備忘送付ニ付、自後字第一號
訓令ニ基キ本官ヲ潮汕區接收指揮官、指定所屬部隊
隊ヲ指揮シ責任ヲ負ヒ潮汕地區、日本軍第一三〇師團
一部及其補助部隊ヲ接收ス。

第二貴官及在潮汕地區、日本陸軍及海軍補助部隊
ハ本日(三十日)正午十二時ヨリ完全ニ本總司令、節制指揮ヲ
受テ同時ニ以下各事項ヲ實行ス。

一 部隊行動

(1) 汕頭市、外砂及潮陽、日軍ハ指定期日、如ク別々ニ告示
達蒙、及汕頭等、集中スル其、規定事項次、如ク

0421

1. 在汕頭市日軍官兵ハ小野修少將及必要ノ幕僚人員
 並ニ武装衛兵二千名ノ領事ヲ城登リ依然暫時海濱中
 學校ニ在リテ連絡事務ヲ處理スル外其ノ他ハ悉ク十月
 一日岩石ニ到達集中スルニ
 (四) 特ニ暫時殘留ヲ認メ

タル無線勤務人員及自動車修理工場勤務ノ官兵ハ暫時集中(建前)
 2. 外砂集結中。日軍ハ十月一日午後四時外砂ヲ出發徒步行軍
 ヲ主トシ車輛輸送ヲ從トシテ沿海路全砂鄉外馬路ヲ經テ

亞細亞碼頭ニ至リ即夜渡河上岩石ニ至リ直ニ原定制ニ從ヒ要
 圖ニ示ル所ノ要領ノ如ク集中スルニ

3. 潮陽集結。日軍ハ十月二日午前六時潮陽ヲ出發徒步行軍ヲ
 主トシ車輛輸送ヲ從トシ河潮ヲ經テ即日定邊集中地ニ至ルベシ
 4. 潮陽集結。為ニ依然日軍ガ責メ負ヒ必要人員ヲ留メ之ヲ管
 理スルニ

(2) 潮陽外砂。日軍官兵岩石連絡線ノ要領ヲ集中地ニ出發スル以
 前ニ所有ノ武装彈藥裝具及器材等ハ悉ク一々中隊毎ニ小銃一

資スルモノヲ認可セルモノヲ除クハ潮陽、錦鏡、小字外砂、蓬砂、書院、白、特存、海、本部、待、收、組、長、菜、飯、子、少、將、ヨリ、赤、遣、セ、ル、係員、が、加、封、シ、行、ヒ、同、時、ニ、兵、カ、ヲ、赤、遣、警、衛、ヒ、シ、メ、点、收、ヨ、ル、後、ツ、モ、ト、ス、在、山、頭、市、内、ノ、集、中、ス、ベ、キ、日、軍、官、兵、ハ、其、ノ、武、器、彈、藥、裝、具、ヲ、悉、数、ニ、貯、留、時、海、濱、中、等、(現、在、冬、部) 達、絡、部、内、ニ、封、存、シ、点、收、後、ハ、(5) 集、中、完、了、後、ノ、規、定、

達、絡、部、ト、シ、テ、海、濱、頭、ノ、各、集、中、地、ニ、各、電、話、機、一、部、ヲ、留、用、別、ニ、交、換、機、一、部、以、テ、簡、單、ナル、通、信、網、ヲ、構、成、ス、

又、一、ケ、甲、隊、毎、ニ、喇、叭、手、一、コ、留、用、ス、ル、コ、ト、ヲ、認、ム、

又、無、電、機、一、部、或、ハ、本、部、及、ヒ、吉、州、達、絡、部、ト、達、絡、ス、ル、コ、ト、ヲ、認、ム、位、

暗、号、ヲ、使、用、ス、ル、コ、ト、ヲ、傳、ス、

二、日、本、官、兵、ノ、基、石、達、海、濱、頭、等、ニ、集、中、夜、状、況、ヲ、察、知、シ、分、ヲ、收、

容、行、シ、設、置、以、テ、之、ヲ、管、理、ス、其、ノ、詳、細、規、定、ハ、別、ニ、定、ム、

三各地倉庫内に封存せる武器彈藥器具器具及その他一切
軍用物等其の奉知を要するものは將が責に負上隊員を派遣し
一區令の原令に準じて於て取扱ヒシム其の日期及び順序別之を規定
ヒシム

四南北區内日軍の交通通信工具器具(航空関係を除く)ニ對し通信
器材の奉總司令凡月日附接訃字第一七九號代電及び附シテ所
規定ニ遵ヒ處理スベキヲ除ク外其他交通部分ハ甚る敏示少將が
別ニ規定スベキ之ヲ長此ス

五南北區ニ於て日軍之事務に對し(官民)商合辦或ハ民營ノ交通通信
工具器材及び土木製造工務等ハ詳細ナル表用五部ヲ作製シ本部ニ
提出シ人員ノ派遣接收ハ俟ツベシ

六南北區内日台朝鮮諸民ノ公債賦金及官商關係直轄式裝整等
備ニ對シ貴官が原汕頭領事令成登ラ監督詳細ナル表用五部ヲ
作製本部ニ提出セシメ受領スベシ

第三小北區ニ對シテ凡月日附接訃字第一七九號代電ノ種類數量圖表ハ
本部ニ提出スベシ

第五貴官、原支隊ノ凡有ル情報資料及一切ノ書類公文書ハ部

大佐ヨリ派遣セル係員ニ接收スベシ

第五本日(三十日)十二時以降本總司令ヨリ貴官ニ對スル一切ノ公文書ハ命令或ハ訓令ヲ用ユ

第六本總司令、三十日以前貴官ニ送達セル各號代電及公文書ハ今後別ニ變更命令アル場合ヲ除ク外全部命令ト着為スベシ
右

汕頭連絡支部長小野修少將ニ令ス

(別ニ要圖一部添付)

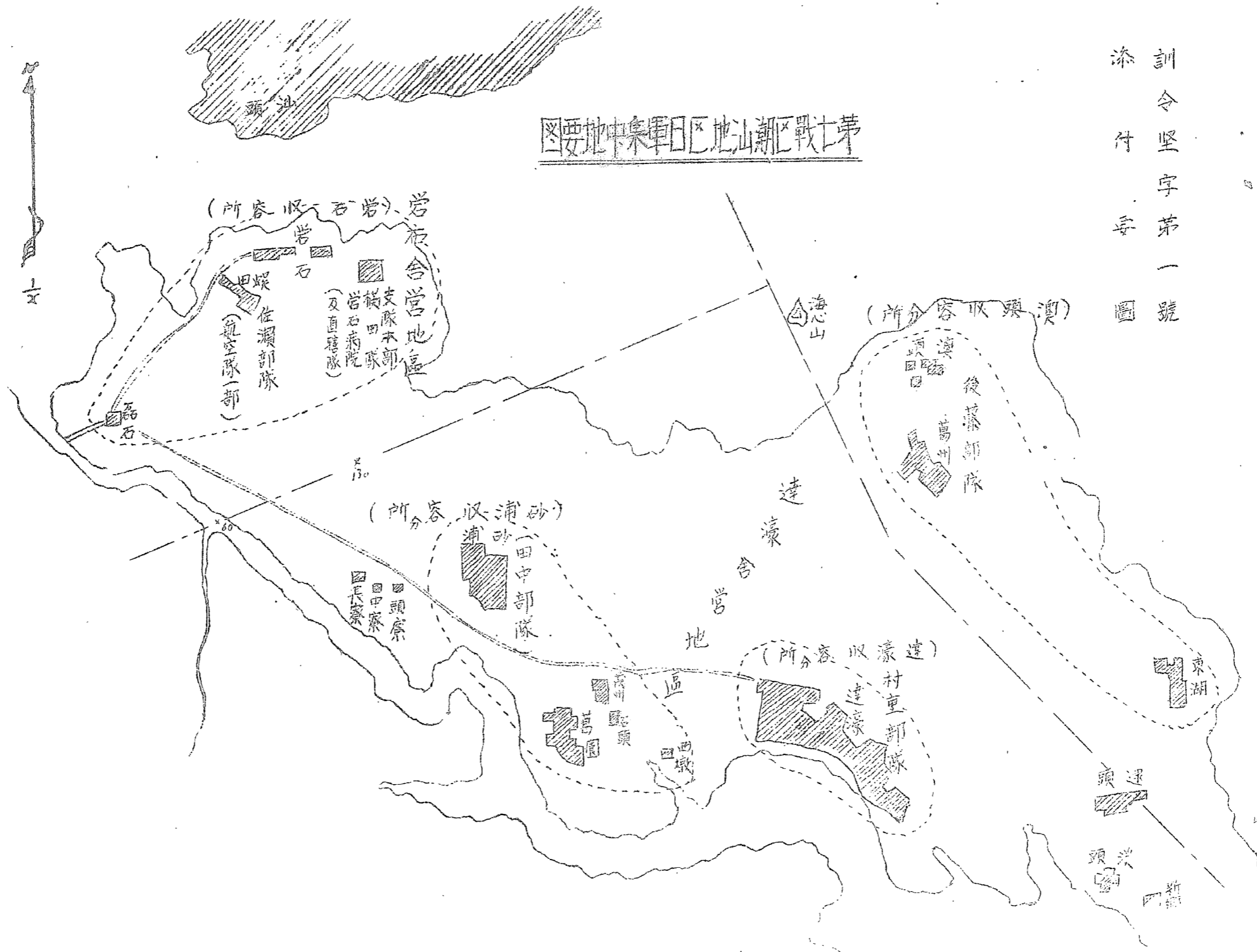
中國閩粵贛江區總司令陸軍中將香翰屏

副總司令陸軍中將歐陽駒

傅達法歐陽駒中將ヨリ日軍汕頭支部長ニ招キ授與ス。

第一戰區朝鮮山地中日軍集結地要圖

訓令 第一號
添付 第一圖



0426

附録第一四

鐘汕支隊命令第一〇號

汕頭支隊命令

九三〇一四〇
汕頭

一 支隊ハ訓令堅字第一號(紙第二)ヲ迅速且確實ニ
實行セントス

二 隸指揮下各部隊(隊)ハ別紙第二移讓(集結)要領

ニ基キ迅速且確實ニ移讓(集結)ヲ實行スベシ

三 余ハ汕頭ニ在リ

汕頭支隊長 小野 少將

別紙第二

移讓（集結）要領

方

針

訓令堅字第一號ニ基キ軍紀最モ嚴正且齊整田

滑ニ移讓事項ヲ處理スルト共ニ乘船待機間ノ

集結地へ移駐セントス

實施要領

一 移駐準備

兵器彈藥及其他軍需品ハ各營營地區毎ニ（出頭ハ海浜中学潮陽ハ錦鏢中学外砂ハ蓬砂音院）夫々分類集積且釘封ヲ施シ一部兵力ヲ發遣シテ之ヲ警戒セシメ中國側接收組長葉敏弔少將ノ点

収ヲ受ケ警戒ヲ交代ス

警戒ノタメノ設置兵力ハ將校ノ指揮スル一

々小隊ヲ標準トス

接收ニ関シテハ別ニ指示アル筈

2 訓令中第二項ノ五、六ハ小坂大尉及ビ今城領
事處理スベシ

3 訓令中第三項及第四項ハ小坂大尉西村中尉
處理スベシ

ニ移駐ノタメノ部隊ノ行動

1 経路

0429

2. 岩石地區ニ於ケル會營區分鑛汕支停命第一一
別紙ノ如シ

部	隊名	経路	出立日時	到着日時	備考
外砂部	後藤部隊 佐瀬部隊	外砂—金砂 —アサギ —下ノ	16.00	拂曉	人佐瀬部隊ヨリ自働車修理工場ニ兵員ヲ後藤部隊ヨリ 卷塚馬区管理人員ヲ殘置ス
潮陽部	村重部隊 田中部隊 香川隊	潮陽—露岩 —連環 (砂浦)	06.00	夜半	村重 田中部隊ヨリ馬区管理援助人員ヲ殘置ス 輸送開始ハ二ノハトノ定ス
汕頭部	☆ 其、他 直轄隊	第四機橋ヨリ 乘船ニ岩 石ニ至ル迄 又	拂曉	夜半	次朝ヨリ一部人員ヲ殘置ス
備考	一殘留人員第3項ノ如シ 二移動ノ細部ニ關シテハ會營司令官統制計畫ス				

0430

3. 殘置人員左ノ如シ

イ. 支隊本部 支隊長 小野大尉 西村中尉

植花少尉 小坂大尉 佐藤大尉

外ニ下士官兵一〇名 通信班 二五名 警戒兵 二〇名

合計 六一名

ロ. 馬匹管理援助隊

卷埠及潮陽ニ夫々兵科將校ヲ長トシ獸醫將校ヲ各一名ヲ殘置
シ管理ヲ援助ス 主食ハ殘置糧秣ニ依リ副食ハ中國側調弁ヲ援助
支隊本部ノ馬匹ハ將來卷埠ニ移管スル筈此ノ場合ニ於テハ兵一〇ヲ增加ス

ハ. 自動車修理工場

庄司少尉ヲ長トスル所要人員ヲ殘置ス

ニ. 領事館

領事ノ外必要最少限ノ人員ヲ殘置ス

二. 其ノ他ニ関シテハ別紙堅字第一號ニ依ルベシ

三. 携行ヲ許可セラレタル倉庫地別兵器配當表別表ノ如シ

(附録第一四、別紙)

備考	澳頭		達濠				岩石				舎営區	部隊名	小銃携行数 完数 半数	別以	摘	要		
	憲兵隊	後藤部隊	憲兵隊	香川隊	田中部隊	村室部隊	山岡隊	佐瀬部隊	憲兵隊 (主力)	病院	横田隊 (含橋原隊)						☆	
一 完数トハ中國側ヨリ指定シ來レル小銃携行数量ニシテ左ノ如シ ☆ 憲兵隊 六 村室 田中 各六四(本部六一般中隊各一〇重火器通信隊各六) 香川 三二(本部六一般中隊各一〇機關銃小隊各三) 後藤 二四(本部六中隊各六) 横田 一〇(横田大橋原 四) 佐瀬 二四(本部六中隊各六 航空六) 上田 六 二 實数トハ集結後配當替セル数量トス	六三	二四	三	三三	六四	六四	〇	二四	〇	六	三〇	二四	一	一	(六)ヲ憲兵隊主力ノ			
	三	二四	三	二六	六四	六四	六	二四	六	六	一	一	一	一	(六)ヲ憲兵隊主力ノ			
				(六)ヲ山岡隊ノ					(六)ヲ憲兵隊ヨリ									
			(三) 憲兵隊配當ノ完数ノ半数トス					佐瀬部隊中ニハ航空隊 汲口隊及工藤隊ヲ含ム										
			(四) 八馬正管理部隊卷澤發留間卷澤ニ發留ス					(六) 香川隊機關銃中隊ヨリ										
			(三) 憲兵隊配當ノ完数ノ半数トス															

閩粵贛辺區總司令部命令

總 堅 字 第 九 三 號

- 一 該連絡支部ハ明(十六日)午前七時岩石ニ移轉ス
- 二 現往地名留アル家屋二間ヲ留用シ官長三名部下ト
連絡スルヲ許可ス 炊事兵四名ヲ保留シ本部ト
- 三 移轉ニ際シ原駐地ハ私保留シテ蘇銳組長ニイテ他
セシムベシ
- 四 現在連絡部ニ在ル馬匹飼養兵ハ依然現地ニ止
有命令ス

昭和二十一年一月一五

0433

閩粵贛辺區總司令部代電

民立字第一四一五號

九月二十三日發

(一) 本軍ハ陸續トシテ汕頭ニ到着汕頭ニ於ケル
警備勤務及行政司法等ノ機關ニシテ特定ヲ除
ク外九月二十五日午前八時ヨリ接收ヲ開始ス

(二) 汕頭市警備勤務ノ接收

人本部参謀処長大佐部任遠ヲ特派シ汕頭警備隊
長ヲ兼任在汕頭警備ノ責任ヲ負フ部隊ノ統一
指揮ヲ為サシム 從來汕頭市警備勤務ノ日軍
(倉庫守衛ヲ除ク)ハ部大佐ノ派遣セル部隊ニ引継グベシ
2. 日軍憲兵隊ノ勤務ハ憲兵第十六團第三連々長
蘇玉齡ニ引継クベシ

(三) 倉庫軍用工廠物資交通通信ノ引継管理

2 本部接收組長葉敏予少將^ノが責ヲ負ヒ引継管理
ス

2 貴官ヨリ係員ヲ派遣シ^テ敏予少將ヨリ派遣セ

ル係員ト共ニ在汕頭各^ノ庫工場軍需物資等ノ

嚴重釘封ヲ爲シ葉少將ヨリ兵ヲ出シ^テ守備ヲ交

替シ^テ尔後ノ接收ニ備フベシ

3 自動車修理工場ハ暫時現状ノ終保持セラレ度

以テ接收日時ハ別ニ之ヲ定ム

4 交通通信ハ已ニ接收セル一部ヲ除ク外殘余ハ

別ニ接收日時ヲ定ム

(四) 軍用圖書書籍文献公文書情報資料等ノ接收ハ

別ニ之ヲ定ム

(五) 軍用民用航空ハ空軍參謀曹醒仁接收ヲ爲シ期

日ハ別ニ之ヲ定ム

(六) 汕頭市各行政機關司法機關ノ接收管理

1. 元汕頭市政府及管轄下ノ一切行政機構公共事業及各機構ノ經營或ハ佔有ノ各種工場民營倉庫等ハ九月二十五日汕頭市長譚葆壽責任ヲ負ヒ接收スベシ

2. 鹽務機關ハ潮橋塩場長張子英接收ヲナス

3. 汕頭郵便局ハ局長陳華伯ガ接收ヲナス

4. 法院及所轄機構ハ汕頭地方法院々長謝兆吉接收ヲナス

5. 電報局

稅務局銀行等及其他機關別ニ派遣ノ上

接收ス

(七)

凡有日本在留邦人台灣籍朝鮮人民ニ對シテハ原住所ニ於テ待命ニ志リニ移動セシメザル様

0436

- (八) 所ヲ詳細ナル表ニ作成シテ本部ニ送達スベシ
貴官及司令部原有官兵ハ仍ホ現駐地ニ留メ繼
續シテ任務ヲ續行スベシ
- (九) 日本領事館及所屬人員ハ依然現在ノ場所ニ於
テ日本在留邦人台湾籍朝鮮籍人民ノ所有關係
事項ヲ處理スベシ
- (十) 汕頭市ノ警備及倉庫看守ヲ担當セル日本軍官
兵ハ交代完了次第逐次日本領事館附近ニ集合
後外砂ニ集結スベシ
- 以上各項ハ命令通り處理ノ上回答アリ度

0437

閩粵贛邊區總司令部代電

接字第第六十六號 一〇六

軍用物品物資建築物檢收實

施方法

甲 要 領

一 本接收組ハ速ニ日軍ノ武器彈藥被服裝具ヲ檢
 收スルヲ夕夕上ノ率ヨリノ數次ノ規定ニ遵ヒ先ツ
 交通通信工具ヲ檢收シタル後逐次潮陽潮州古
 卷卷埠揭陽外砂汕頭等ノ日軍倉庫馬廐醫院工
 場物資建築等ヲ接收セントス

乙 實 施 期 日

一月十六十七十八日軍ノ交通通信及其ノ工具燃料

- 一 八月十一日ハ潮陽ノ兵器彈藥器械馬匹被服等
 ノ檢収ヲナス
 二 八月十一日ハ潮陽ノ兵器彈藥器械馬匹被服等
 ノ檢収ヲナス
 三 二十二日ハ潮州古巷巷埠宮路ノ兵器彈
 藥器械衛生材料馬匹及糧秣被服裝具等ノ檢収
 ヲナス(古巷ニ在ル大砲彈藥ヲ潮安ニ輸送スルタメ多少ノ日數ヲ必要トスル)
 四 十二日ハ揭陽ノ兵器彈藥器械被服等ノ
 檢収ヲナス
 五 二十四日以後ハ汕頭ノ兵器彈藥燃料器械糧秣
 被服裝具衛生材料醫院工場馬匹獸医材料及其
 他物資ノ檢収ヲナス
 六 各地ニ於テ万一予定期日通り檢収完了シ能ハ
 サル時ハ其ノ期日ヲ順次延期スルコトヲ得

0439

附録第一八
鍾汕支隊命令第七號

汕頭支隊命令

九二四一四
汕頭

一支隊ハ閩粵贛邊區總司令部代電成立字第一四五號(別紙)ニ基キ汕頭ニ於ケル警備勤務及行政司法機關ノ特定箇所ヲ除ク外、移讓ヲ實施セントス。移讓開始ハ九月二十五日九時トス

二汕頭警備隊長及汕頭憲兵隊長ハ汕頭市ノ警備及憲兵勤務ヲ本部參謀處長大佐卸任遠及憲兵第十六團第三連々長蘇玉齡大尉ニ移讓スベシ交代後ハ概ネ司令部附近ニ集結セル後外砂舎營地區ニ集結スベシ

0140

- 三 小坂主計大尉ハ汕頭野戰倉庫及軍用工廠ヲ嚴
皇封印(釘封)ノ上接收組長葉敏予少將ヨリ差出
サレタル人員ニ管理ヲ接管スベシ
- 四 佐瀨部隊長ハ鈴木隊ヲシテ自動車修理工場ヲ
當分ノ間現在ノ終現任務ヲ續行セシムベシ
- 五 交通通信ノ關係資料ノ既ニ移讓セルモノ以外
ノ移讓ニ関シテハ別ニ指示ス
- 六 軍用圖書々籍文献公文書情報資料等ノ移讓ハ
別ニ指示ス
- 七 航空關係ノ中國側接收責任者ハ空軍參謀曹醒
仁トシテ移讓時機ハ別ニ指示ス
- 八 山圖中佐ハ汕頭市各行政司法機關ノ移讓(移管)

0441

ヲ別紙代電第一四五號ニ基キ處理スベシ

九 汕頭領事ハ依然現位置ニ在リテ在留邦人台湾人朝鮮人ノ所管事項ヲ處理スルト共ニ左記事項ヲ速ニ實施スベシ

- 1. 在留邦人台湾人朝鮮人ニ對シ居住地ニ待命シテ尋ニ移動セザル如ク告知スベシ
- 2. 在留邦人台湾人朝鮮人ノ姓名住所ヲ詳細ニ表ニ作製シ速ニ呈ホスベシ

十 細部ハ副官ヲシテ指示セシム

十一 余ハ汕頭ニ在リ

汕頭支隊長 小野 少將

附録第一九

閩粵贛邊區總司令部命令

漢文 字 第三三三號 九三〇

潮汕區日本航空機及器材物資設備等ヲ十月一日
午前人時中國航空委員會第六地區司令部汕頭空
軍站站長鐘錦棠及同空軍連絡參謀曹醒仁ニ接收

セラルベシ

右命令ス

總司令 香翰屏

副總司令 歐陽駒

0143

附錄 卷二

閩粵贛辺區總司令部代電

決文字 第二五六號 一〇一四

茲ニ本月十八日ニ海軍駐汕接收并事處主任陳
及本部接收組人員ヲ同途ノ上潮汕地區日本海
艦船器杖及附屬諸設備ヲ表冊ニ作成ノ上十七
以前ニ當該船舶ヲ海關左側ノ防風地帯ニ集中
収メ受クベシ 依ツテ人員ヲ派遣シ該陳主任
予メ協議上適宜之ヲ處理スベシ

0144

附録第二一

鐘汕支停命第一一號

汕頭支隊命令

九三二四頭

一支隊ハ訓令堅字第一號ノ示ス所ニ依リ岩石舎

営地區ニ集結宿営セントス

二鐘汕支停命第一〇ニ依リ集結セル部隊ハ別紙

要圖ノ如ク宿営スベシ

三舎営司令官ヲ左ノ如ク定ム

達濠舎営司令官 山岡中佐

岩石舎営司令官 佐瀬少佐

澳頭舎営司令官 後藤大尉

四各舎営司令官ハ各収容所(分所)長ト合議ノ上警

戒及其他必要事項ヲ速カニ決定スベシ

其ノ他ノ指示事項ハ鐘汕支停命第二號ヲ参照
スベシ

五旅團通信班ハ岩石ヲ基点トスル各舎営地區ト
ノ有線網ヲ構成スルト共ニ軍トノ無線連絡ヲ
確保スベシ

但シ支隊本部現駐地所在間ハ現在地ニ於テ現
任務ヲ續行スベシ

六、細部ハ高級副官ヲシテ指示セシム
七、余ハ汕頭ニ在リ

汕頭支隊長 小野少將

0146

鐘山支停命第一一號 二 基 7
高級副官指示

一山岡隊編成要領表、如シ

長 山岡中佐

副官 吉岡中尉

附 村重部隊ヨリ將校一

下士官 三(村重、田中、香川ヨリ各一)

兵(雇員)一五(村重六、田中六、香川二、本部一、本部一、新山雇員トシ)

憲兵 山根准尉以下九名

二辺區總司令部代電決字第三五號ニ依ル各地區

ニ於ケル日本軍及居留民收容所長(舍所長)左ノ如シ

岩石收容所長 (本朝副處所) 揚瑞雲中校

砂浦分所長 劉有長少校

0147

連 濠

分所長

麦

秀少校

澳 頭

分所長

何

介 眉 上 尉

別ニ一八六師五五七團ノ一ヶ營ハ十月一日一

六〇〇岩石ニ至リ警護ニ任ズ

三 舍營區ニ於ケル諸規定ハ別ニ規定セラレル等

四 憲兵ヲ左ノ如ク舍營地區ニ派遣シ舍營司令官

、區處ヲ受ケ軍事警察ニ任ゼシム

營 石 地 區

主

力

達 濠 地 區

山根准尉以下充名

澳 頭 地 區

大野曹長以下五名

0148

岩石^ル集結地ニ於ケル軍隊區^ヲ分

岩石舎營區

舎營司令官

佐瀬少佐

支隊本部

(松永隊白土隊)

横田隊

(礪原隊)

上田隊

佐瀬部隊

(伊崎隊坂口(防)隊坂口(病)隊)

在留邦人

達濠舎營區

舎營司令官

山岡中佐

村重部隊

田中部隊

香川隊

須頭舎堂區

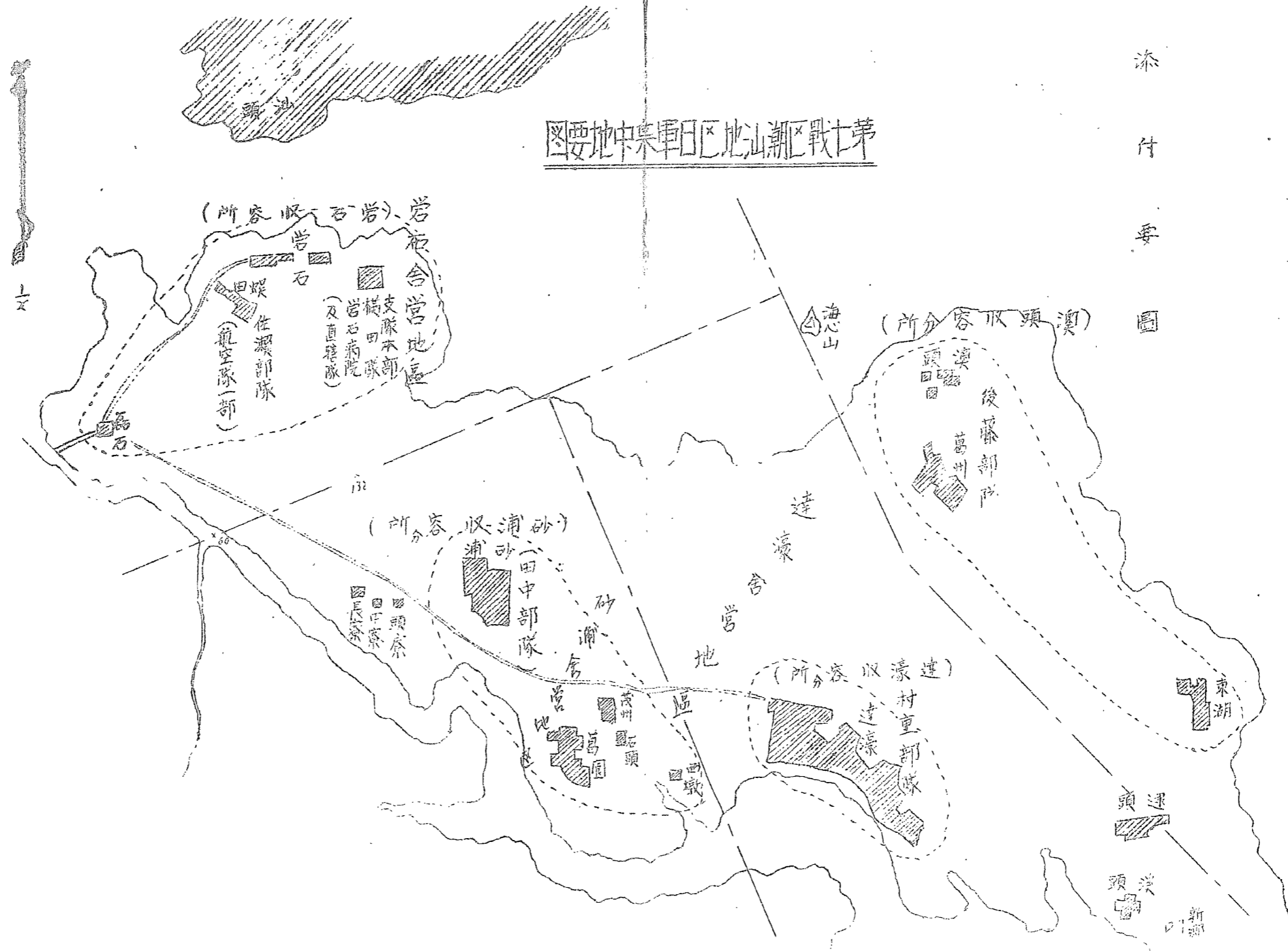
今堂司令官
後藤部隊

後藤大尉

0450

第廿七戰區潮汕地區中日軍中央要地圖

添付要圖



0451

附録第二二

鍾山支停命第一三號

汕頭支隊命令

汕頭一九一四

鍾山支停命第一一號第二項舍營區ニ砂浦舍營區
ヲ追加シ舍營司令官ヲ左記ノ如ク定ム

左記

砂浦舍營司令官 田中大尉

此而全命令高級副官指示中山岡隊本部縮成中ノ
中部隊差出下士官一兵六ハ原所屬ニ復歸セシ
ルヲ要ス

示ハ汕頭ニ在リ

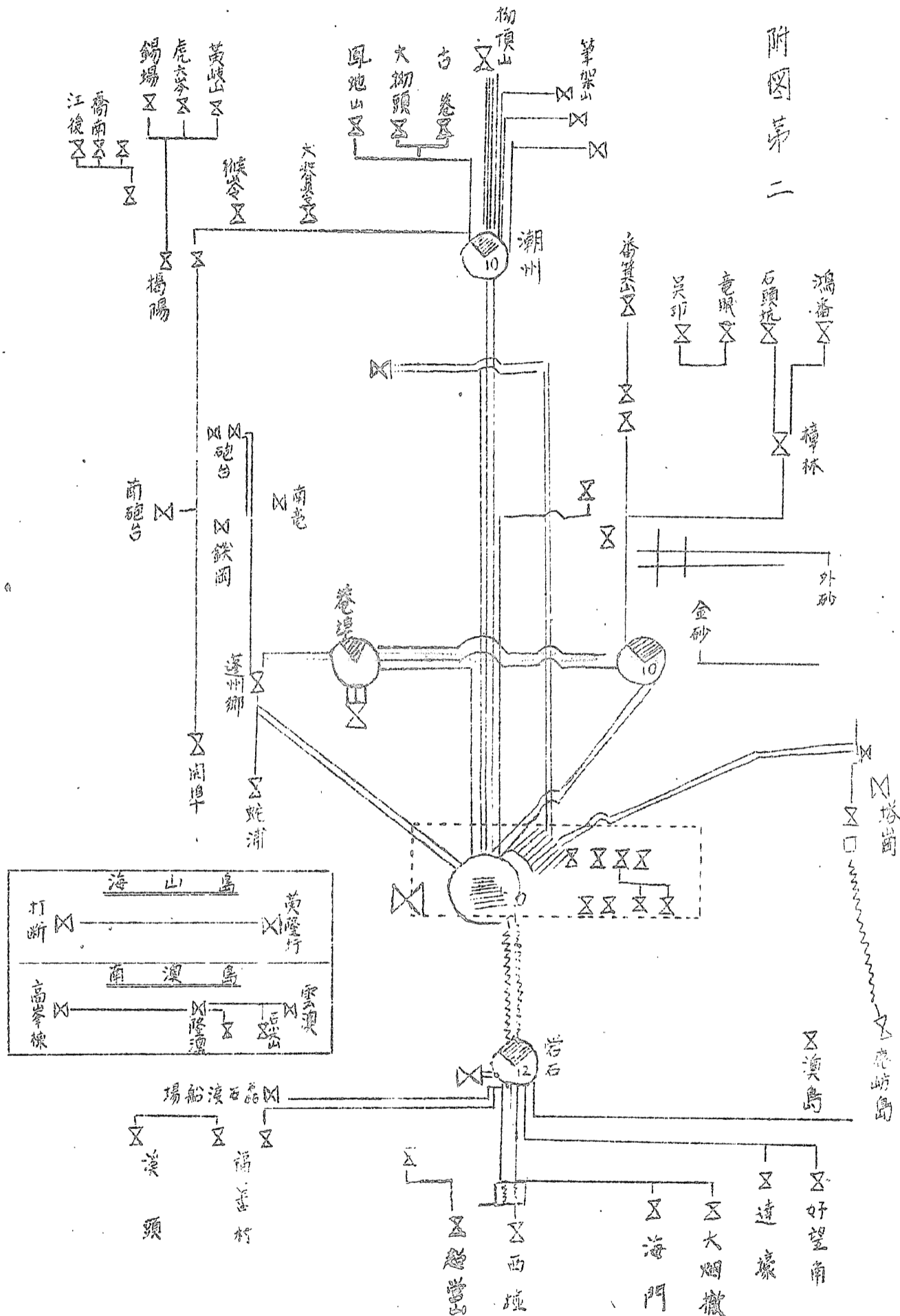
汕頭支隊長 小野少將

0452

支隊有線通信網要圖

附圖第二

0153



附録第二三

第七。戦區前進指揮代電

岳字第一七八號 一〇、三

優良衆馬二十頭軍犬五頭日軍飼養兵八名將校一名ヲ選定シ藥品及必需品裝具ヲ携帶シ上月五日日本指揮所ニ差出シ尋鄒長官部ニ赴ク如ク準備スルヲ要ス

0454

附録第二四

鍾 汕 支 停 命 第 一 二 號

汕 頭 支 隊 命 令

一〇、五、二二
汕 頭

一 支 隊 ハ 第 七 戰 區 前 進 指 揮 所 代 電 岳 字 第 一 七 八 號 ニ 基 キ 乘 馬 軍 犬 ノ 教 官 助 教 要 員 ト シ テ 將 校 以 下 十 名 ヲ 尋 鄔 長 官 部 へ 差 遣 セ ン ト ス

二 西 牧 少 尉 ハ 差 遣 隊 長 ト ナ リ 速 カ ニ 編 成 ヲ 完 成 シ 十 月 五 日 正 午 前 進 指 揮 所 ニ 至 リ 歐 副 官 ノ 指 揮 下 ニ 入 ル ベ シ

三 細 部 ハ 高 級 副 官 ヲ シ テ 指 示 セ シ ム

四 余 ハ 汕 頭 ニ 在 リ

汕 頭 支 隊 長 小 野 少 將

0455

別紙

尋郎差遣隊編成表

差遣隊長 陸軍少尉 西牧敏夫(後藤部隊)

(一) 軍馬班

下士官 二(兵科及獸醫下士官各一)

陸軍軍曹 前田茂(後藤部隊)

陸軍獸醫班長 枡本久雄(後藤部隊)

兵 五(工務兵二 衛生兵一ヲ含ム)

陸軍衛生兵長 鎌田廣(後藤部隊)

陸軍兵長 西川辰夫(後藤部隊)

全 矢野數男(後藤部隊)

陸軍上等兵 秀島恒夫(後藤部隊)

0456

軍犬班

下士官一

陸軍上等兵 城戸 一 (後藤部隊)

陸軍伍長 田中重二 (村皇部隊)

兵一

陸軍一等兵 梅田富人 (村皇部隊)

軍犬五 (司令部一 村皇部隊 田中部隊各二)

0457